

あやめ池学園南

9 条の会

発行者 吉川好胤 あやめ池南1-3-32
fax 0742-44-0416

奈良の戦跡を訪ねる～第1回～

5月9日午前10時長柄駅集合

建設事務所は、柳本駅西側に置かれ、労働者の宿舎も建ち、一般団体からの勤労奉仕も加わって工事が進められていきま

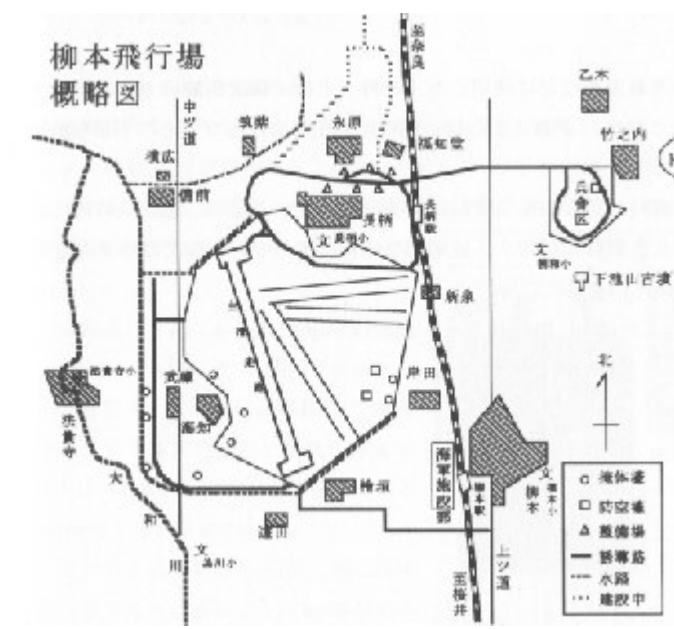
「奈良の戦跡を訪ねる（第1回）」に取り組みます。日程は、5月9日です。当初3月に予定をしていましたが、あいにく当日が雨天により中止となったため改めて5月9日に計画します。（当日午前7時の時点で雨天の場合は16日に順延）

目的地は、天理の「柳本飛行場跡」です。午前10時 JR長柄駅集合で、午後3時解散予定です。（弁当飲み物持参）

「柳本飛行場跡」と言っても知らない方も多いかと！それは「大和海軍航空隊大和基地」のことです。

JR桜井線長柄駅と柳本駅の間（線路の西側）を散策します。

「朝鮮人強制連行と天理柳本飛行場」（奈良発掘をする会）によると次のような記述があります。



した。飛行場用地は300ヘクタールといわれ、そのうち270〜280ヘクタールは、朝和村領であった。同村の田畑全耕地面積が500ヘクタールといわれ、55%以上が軍公用に徴収されました。（天理市史より抜粋）

工事は、川の付け替えから始まり、神社、寺、墓地なども廃棄や移転が命ぜられました。

この建設工事には、多くの朝鮮人などが動員や強制連行によって、柳本の地へつれてこられ、厳しい労働状況の中で働かされました。強制連行された人たちは、次のように証言しています。

「寝ているときに急に人が入ってきて連れて行かれた。1943年の秋だ」「トラックで運ばれたあと、貨物列車に乗せられて、着いたのが柳本だった。何百人といた。私の村からは4人いた。とにかく多かつた」「朝五時半に起きて、飛行場建設にあたった。沖縄戦が始まってからは、夜にも（山の斜面に）トンネ

益川教授は「なぜ憲法九条を変えようという動きが強まっているのか」と参加者に幾度も問いかけ、「条文が不備だからというが、解釈改憲でここまでやってきて、それでもなおできないことがあるから、改憲というのではないか。ねらいは兵器を自由に使える状況にしたいということ」と述べました。

子どものころの名古屋大空襲で、焼い弾が自宅の屋根を突き抜けた記憶を語った。そのなかで、

ルを掘らされた」と春の1日、戦跡を訪ね

ノーベル賞益川教授語る

「平和」について思いをめぐらせて見ませんか？

ノーベル物理学賞を受賞した益川敏英京都産業大学教授が三月八日、東京・千代田区の明治大学で開かれた「九条科学者の会」の発足四周年記念の集いで講演し、平和と憲法九条への思いを語り、益川教授は同会の呼びかけ人の一人。

益川教授は「なぜ憲法九条を変えようという動きが強まっているのか」と参加者に幾度も問いかけ、「条文が不備だからというが、解釈改憲でここまでやってきて、それでもなおできないことがあるから、改憲というのではないか。ねらいは兵器を自由に使える状況にしたいということ」と述べました。

大学の先輩にあたる沢田昭二名古屋大学名誉教授の被爆体験を紹介し、声を詰まらせた。

「自分の子や孫にあんな経験をさせたくはない。国家が国家の名で始める戦争はいやだ」

会場からの若者の質問には、「あるかけらを見て、そこから全体像をどう想像するか。それは人間だからできること。戦争にも、あらかじめ見える予兆があるはず。それに反応しなくてはいけない」と答えました。

恒例の 静岡茶幹旋
2200円(200g)
4月30日締切
申込は、代表世話人まで